

1. 石巻市の被害

石巻市は、地震・津波により多くの被害を受けた。本章では市全体の被害状況を概観する。

○石巻市内で被災した死者数および行方不明者数
（宮城県および宮城県警察による確定数を反映）

地区	直接死	関連死	行方不明者
本庁	2,209	210	204
河北	402	14	42
雄勝	156	17	70
河南	12	11	5
桃生	6	3	1
北上	194	7	67
牡鹿	76	12	31
小計	3,055	274	420
その他	212	0	5
身元不明	11	0	0
合計	3,278	274	425



石巻市//東日本大震災アーカイブ宮城
▲内海橋付近



石巻市//東日本大震災アーカイブ宮城
▲北上地区

（単位：人）

直接死は外国人登録者を含みます。

その他とは、他市町村の方や石巻市で住民登録を確認できなかった方となっています。

直接死とは、津波や家屋倒壊などが原因で亡くなったかたです。

関連死とは、直接死以外でこの震災が原因で亡くなり、災害弔慰金支給審査会等で認定された方です。

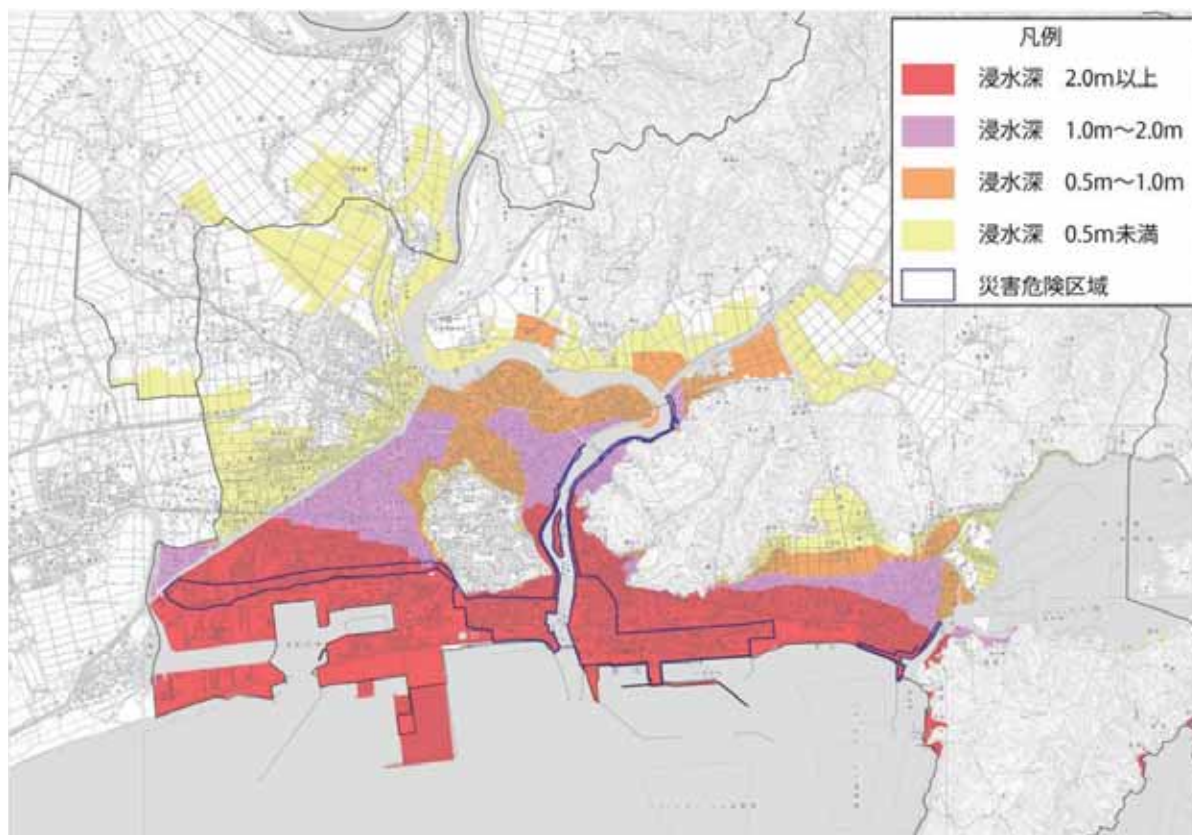
○建物被害	全壊	20,039棟	[121,739棟]
	半壊	13,048棟	[279,067棟]
	一部損壊	23,615棟	[726,412棟]
	合計	56,702棟	[1,127,218棟]

○地盤沈下 最大沈降-120cm(牡鹿地区鮎川)

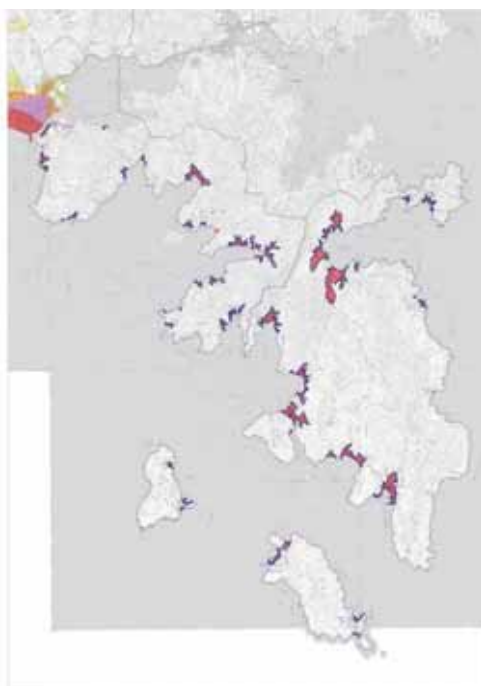
[] は全国（平成28年(2016)9月9日警察庁発表）

津波による浸水区域

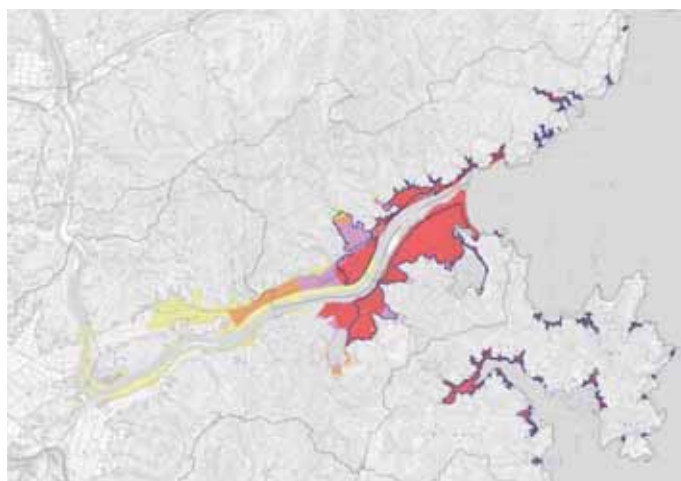
○市街地中心部



○石巻半島地域・牡鹿



○河北・雄勝・北上



2. 石巻地区西部沿岸部の震災被害

市役所本庁舎・商業地区・製紙や合板の工場などが立地し、住宅街も多く、石巻市の人口の46%（約75,000人）が居住していた地区である。また、旧北上川右岸河口部には、文化センター・市立病院・夜間急患センターなどがあった。

沿岸部・河川沿いの地区は、津波の直撃を受け、特に門脇町・南浜町・雲雀野町・釜地区は、大きな被害を受けた。文化センター・市立病院・夜間急患センターも使用不能となり、市立病院の入院患者は、ヘリコプターにより別の病院に搬送された。

旧北上川沿いの無堤地区は、川から津波が押し寄せ浸水した。内陸部でも排水路等を逆流した津波により浸水した。

また、市役所付近や中里地区では数日にわたり排水ができず、移動に困難をきたした。



石巻市 / 東日本大震災アーカイブ宮城

▲三ツ股



石巻市 / 東日本大震災アーカイブ宮城

▲門脇明神



石巻市 / 東日本大震災アーカイブ宮城

▲三ツ股



石巻市 / 東日本大震災アーカイブ宮城

▲門脇町・中央



石巻市 / 東日本大震災アーカイブ宮城

▲門脇町

3. 石巻地区東部沿岸部の震災被害

震災前は、市の人口の22% (約36,500人)ほどが住み、石巻漁港および水産加工団地が立地しており、また、不動町には市民会館がある地区である。

石巻地区東部沿岸部および旧北上川左岸地区は、湊地区・渡波地区とも大きな被害を受けた。

また、稲井地区でも北上川に近い大瓜地区は、遡上した津波により大きな被害がでた。



石巻市 / 東日本大震災アーカイブ宮城

▲渡波



石巻市 / 東日本大震災アーカイブ宮城

▲湊付近 (川口町)



石巻市 / 東日本大震災アーカイブ宮城
▲渡波 長浜幼稚園



石巻市 / 東日本大震災アーカイブ宮城
▲渡波



石巻市 / 東日本大震災アーカイブ宮城
▲湊(田町)

4. 石巻地区半島部（荻浜地区）の震災被害

漁業が中心的産業であり、震災前は1,000人ほどが住んでいた。

リアス式海岸であり、入り組んだ湾が点在し、湾奥に集落があった。震災により大きな津波が押し寄せ、各集落とも壊滅的な被害を受けた。



石巻市 / 東日本大震災アーカイブ宮城

▲荻浜



石巻市 / 東日本大震災アーカイブ宮城

▲荻浜



石巻市//東日本大震災アーカイブ宮城
▲荻浜田ノ浜山 荻浜中学校



石巻市//東日本大震災アーカイブ宮城
▲荻浜(水門)



石巻市//東日本大震災アーカイブ宮城
▲荻浜家前